

1 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。令和6年12月に公表した「令和6砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」の概要は、次の通り（詳細は2025年2月号参照）。

令和6砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：178万6000トン（前年度比0.5%増）

総供給量：177万4000トン（同1.4%増）

【加糖調製品】

消費量および供給量：36万6000トン
（同2.5%増）

【異性化糖】

消費量および供給量：78万トン（同1.0%増）

表1 令和6砂糖年度における砂糖の需給見通し

（単位：千トン）

		令和5砂糖年度 (実績)	令和6砂糖年度				合計	
			10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)		
消費量	分みつ糖	1,742	472.7	410.9	434.3	432.1	1,750	
	含みつ糖	35	7.2	11.5	9.4	7.6	36	
	合計	1,777	479.9	422.4	443.7	439.7	1,786	
供給量	国内産糖	分みつ糖	575	331.3	310.3	33.7	-	675
		含みつ糖	8	1.3	7.3	0.8	-	9
		小計	583	332.5	317.6	34.5	-	685
	輸入糖	分みつ糖	1,159	282.0	180.0	318.9	302.1	1,083
		含みつ糖	7	1.3	2.5	2.0	0.9	7
		小計	1,166	283.3	182.5	320.9	302.9	1,090
	合計	分みつ糖	1,734	613.3	490.4	352.6	302.1	1,758
		含みつ糖	15	2.5	9.8	2.8	0.9	16
		小計	1,749	615.8	500.1	355.4	302.9	1,774
	期末在庫		304	449.0	526.7	438.4	301.6	302

資料：農林水産省「令和6砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表2 令和6砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

（単位：千トン）

	令和5砂糖年度 (実績)	令和6砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	357	96.3	88.8	89.1	91.7	366
供給量	357	96.3	88.8	89.1	91.7	366

資料：農林水産省「令和6砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注1：改正糖価調整法（平成30年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。

注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。

注3：令和6砂糖年度の消費量は、令和5砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

表3 令和6砂糖年度における異性化糖の需給見通し

（単位：千トン）

	令和5砂糖年度 (実績)	令和6砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	772	173.3	176.0	217.6	213.2	780
供給量	772	173.3	176.0	217.6	213.2	780

資料：農林水産省「令和6砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2 輸入動向

【粗糖の輸入動向】

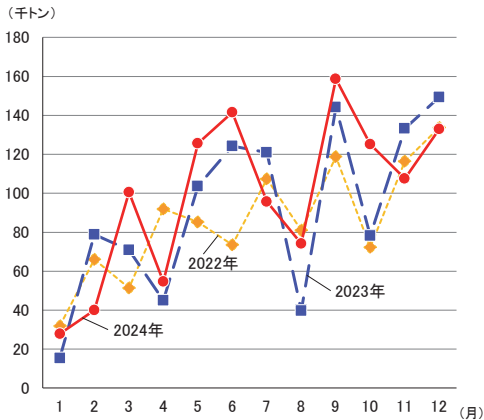
12月の輸入量は前年同月からかなりの程度減少

財務省「貿易統計」によると、2024年12月の甘しや糖・分みつ糖（HSコード 1701.14-110）および甘しや糖・その他（同1701.14-200の豪州）の輸入量は、13万2994トン（前年同月比10.9%減、前月比23.6%増）であった（図1）。

輸入先は甘しや糖・分みつ糖については輸入実績が無く、甘しや糖・その他については豪州で、国・地域別の輸入量は次の通りであった（図2）。

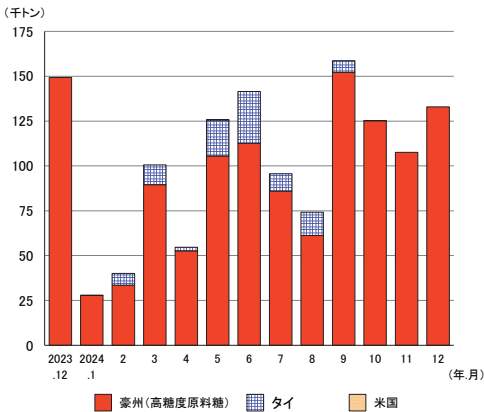
豪州 13万2994トン
（前年同月比10.9%減、前月比23.6%増）

図1 粗糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

図2 粗糖の国・地域別輸入量の推移



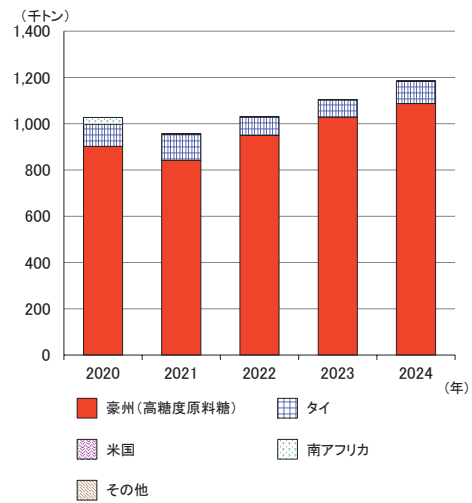
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

また、2024年1～12月の甘しや糖・分みつ糖および甘しや糖・その他の輸入量は、118万4429トン（前年比7.3%増）であった（図3）。

輸入先国は豪州、タイ、米国の3カ国で、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

豪州 108万6962トン（前年比5.7%増）
タイ 9万7410トン（同29.7%増）
米国 57トン（同26.7%増）

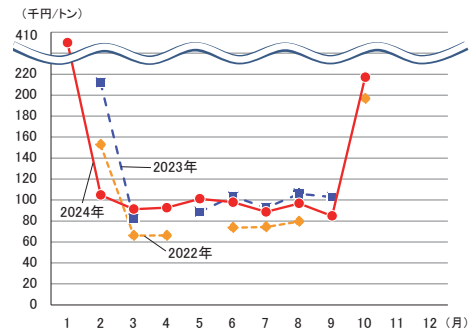
図3 粗糖の年別国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

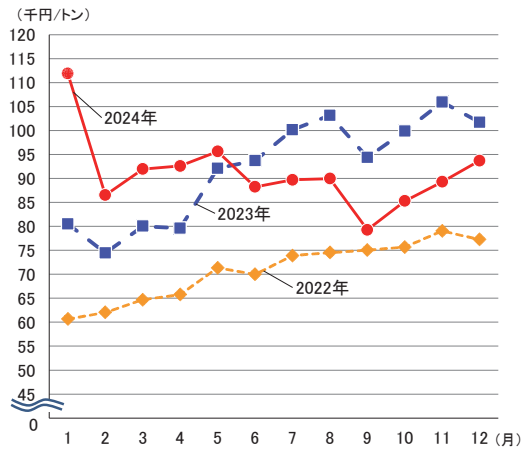
2024年12月における甘しや糖・その他の豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、9万3719円（前年同月比7.9%安、前月比4.9%高）であった（図5）。

図4 粗糖（HSコード1701.14-110）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：2022年1月、5月、9月、11月、12月、2023年1月、4月、10月、11月、12月、2024年11月および12月は輸入実績なし。

図5 高糖度原料糖（HSコード1701.14-200の豪州）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

【含みつ糖の輸入動向】

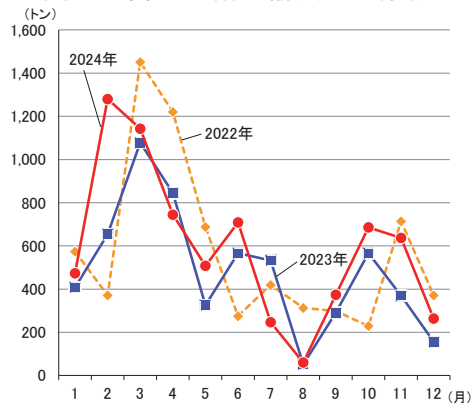
12月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2024年12月の含みつ糖（HSコード 1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、264トン（前年同月比69.2%増、前月比58.6%減）であった（図6）。

輸入先は中国、ポリビア、ブラジル、フィリピン、コスタリカ、ペルーおよびインドで、国・地域別の輸入量は次の通りであった（図7）。

中国	122トン
（前年同月比2.1倍、前月比76.2%減）	
ポリビア	51トン
（前年同月同、同50.5%減）	
ブラジル	38トン
（前年同月および前月輸入実績なし）	
フィリピン	24トン
（前年同月比47.8%減、前月比14.3%増）	
コスタリカ	20トン
（前年同月および前月輸入実績なし）	
ペルー	5トン
（前年同月および前月輸入実績なし）	
インド	4トン
（前年同月比2.0倍、前月比4.0倍）	

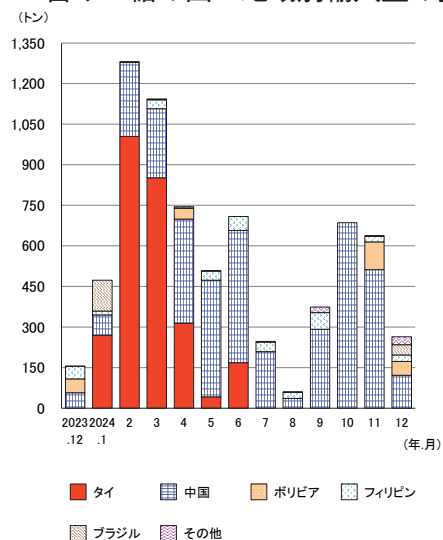
図6 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図7 含みつ糖の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

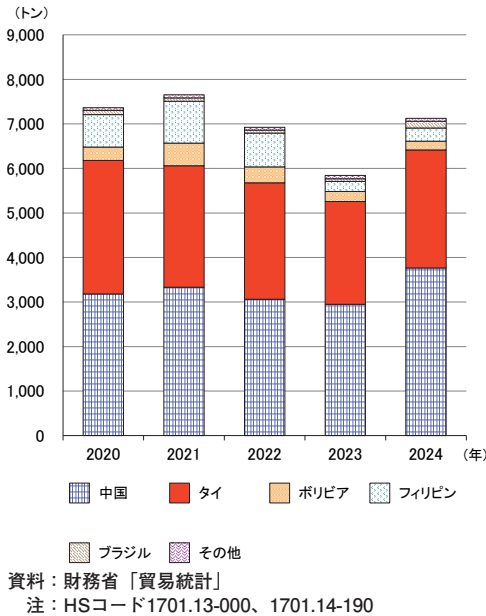
また、2024年1～12月の含みつ糖の輸入量は、7126トン（前年比21.9%増）であった（図8）。

輸入先は中国、タイ、フィリピン、ポリビアおよびブラジルなど9カ国で、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

中国	3766トン（前年比27.8%増）
タイ	2651トン（同14.9%増）
フィリピン	298トン（同33.0%増）
ポリビア	194トン（同15.7%減）
ブラジル	152トン（同2.7倍）
コスタリカ	41トン（同2.5%増）
インド	18トン（同50.0%増）

ペルー 5トン（前年同）
台湾 1トン（前年輸入実績なし）

図8 含みつ糖の年別国・地域別輸入量の推移

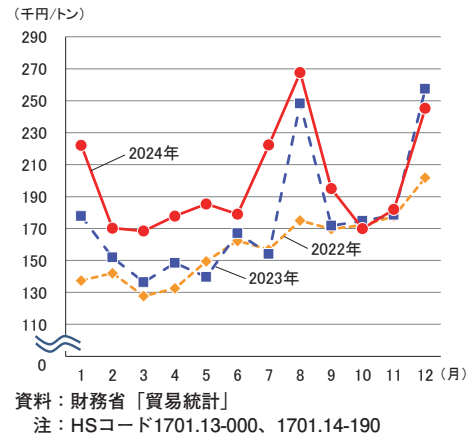


2024年12月の1トン当たりの輸入価格は、24万5273円（前年同月比4.7%安、前月比34.8%高）であった（図9）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

中国	17万2295円
	（前年同月比16.7%安、前月比2.0%安）
ボリビア	20万5882円
	（同3.8%高、同1.8%高）
ブラジル	39万9211円
	（前年同月および前月輸入実績なし）
フィリピン	43万6833円
	（前年同月比15.0%高、前月比2.1倍）
コスタリカ	24万7100円
	（前年同月および前月輸入実績なし）
ペルー	26万400円
	（前年同月および前月輸入実績なし）
インド	33万3500円
	（前年同月比14.8%安、前月比30.0%安）

図9 含みつ糖の輸入価格の推移



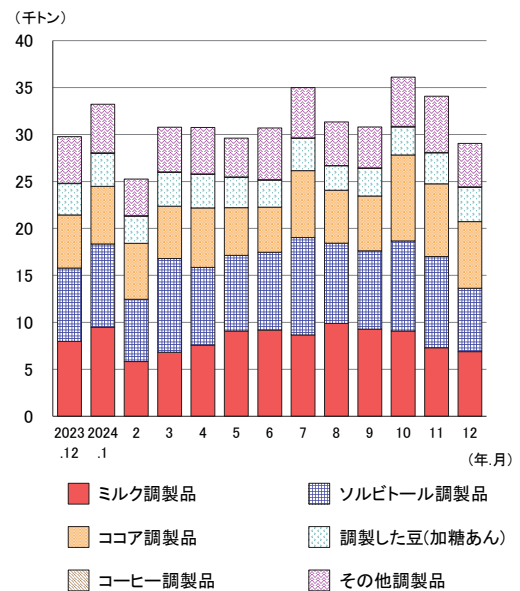
【加糖調製品の輸入動向】

12月の加糖調製品の輸入量は前年同月からわずかに減少

財務省「貿易統計」によると、2024年12月の加糖調製品の輸入量は、2万9051トン（前年同月比2.4%減、前月比14.8%減）であった（図10）。

品目別の輸入量は、表4の通りであった。

図10 加糖調製品の品目別輸入量の推移



ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213
コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246
調製した豆（加糖あん）：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199
ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-284
ソルビトール調製品：2106.90-510
その他調製品：2008.99-269、2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

表4 加糖調製品 品目別輸入量（12月）

（単位：トン）

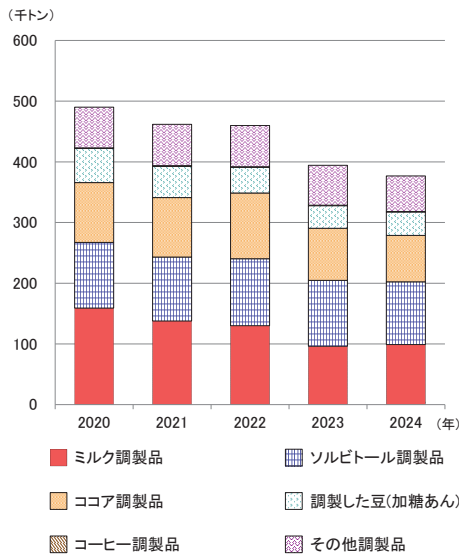
区分	輸入量	前年同月比 (増減比)	前月比 (増減比)
ミルク調製品	6,886	▲ 13.7%	▲ 5.7%
ソルビトール調製品	6,733	▲ 13.8%	▲ 30.6%
ココア調製品	7,103	25.8%	▲ 8.2%
調製した豆（加糖あん）	3,667	9.6%	10.9%
コーヒー調製品	37	▲ 22.4%	▲ 13.5%
その他調製品	4,625	▲ 6.6%	▲ 22.8%
合計	29,051	▲ 2.4%	▲ 14.8%

資料：財務省「貿易統計」

注：端数処理の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

また、2024年1～12月の加糖調製品の輸入量は、37万6707トン（前年比4.5%減）となった（図11）。品目別の輸入量は、表5の通りであった。

図11 加糖調製品の年別品目別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは、図10と同じ。

表5 加糖調製品 品目別輸入量（2024年）

区分	輸入量 (トン)	前年比 (増減比)
ミルク調製品	99,018	3.1%
ソルビトール調製品	103,396	▲ 4.9%
ココア調製品	76,456	▲ 10.9%
調製した豆（加糖あん）	38,705	3.8%
コーヒー調製品	495	▲ 25.3%
その他調製品	58,637	▲ 11.1%
合計	376,707	▲ 4.5%

資料：財務省「貿易統計」

注：端数処理の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 異性化糖の移出動向

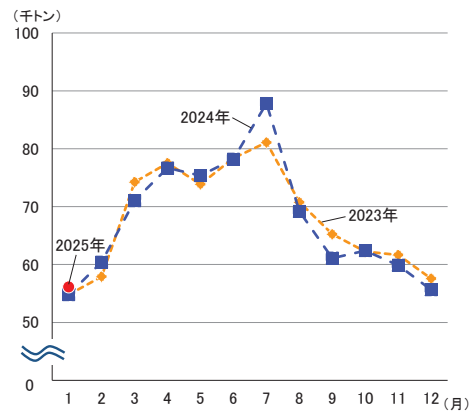
1月の移出量は前年同月からわずかに増加

2025年1月の異性化糖の移出量は、5万6137トン（前年同月比2.5%増、前月比0.9%増）であった（図12）。

同月の種類別の移出量は、次の通りであった（図13）。

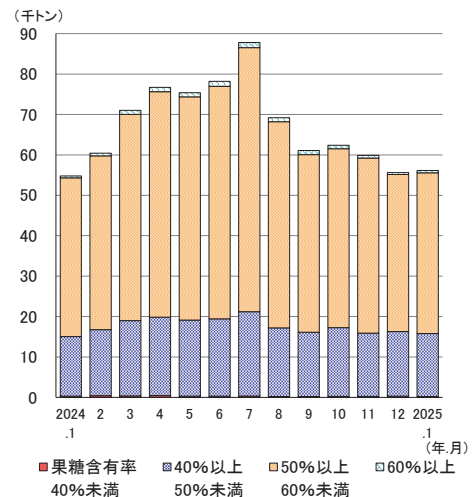
- 果糖含有率40%未満 235トン
（前年同月比15.9%減、前月比24.3%減）
- 同40%以上50%未満 1万5582トン
（同5.6%増、同2.4%減）
- 同50%以上60%未満 3万9742トン
（同1.2%増、同2.2%増）
- 同60%以上 577トン
（同20.0%増、同19.8%増）

図12 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図13 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

4 価格動向

【市場価格】

砂糖・異性化糖ともに前月と同水準で推移

1月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は、次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京	1キログラム当たり249～251円
大阪	同249～251円
名古屋	同252円
関門	同254円

上白糖（小袋）

東京	1キログラム当たり261～265円
大阪	同264～265円

本グラニュー糖（大袋）

東京	1キログラム当たり254～256円
大阪	同254～256円
名古屋	同257円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京	1キログラム当たり249～251円
大阪	同249～251円
名古屋	同250円

1月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり164～165円

果糖分55%もの

同170～171円

【小売価格】

1月の上白糖小袋の平均小売価格は263.2円

KSP-POSデータ（全国501店舗）によると、スー

パーにおける1月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、263.2円（前年同月差14.3円高、前月差1.8円高）であった。最も高かったのは中国・四国で、最も安かったのは関東などであった。

同月の地域別^(注)の平均小売価格は、次の通りであった（表6）。

(注) 地域の内訳は、次の通りである（以下同じ）。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

表6 上白糖の地域別平均小売価格（1月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	283.2	3.3	▲ 8.1
東北	281.0	15.5	▲ 4.1
関東など	237.9	5.0	2.1
首都圏	248.8	9.7	5.7
中部	253.8	16.8	6.5
関西	255.2	18.4	3.6
中国・四国	294.3	19.6	▲ 0.5
九州・沖縄	251.5	10.5	▲ 1.4
全平均	263.2	14.3	1.8

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国501店舗〉）

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

注3：前年同月価格差および前月価格差は、KSP-POSデータ内における価格差である。

1月のグラニュー糖小袋の平均小売価格は325.4円

KSP-POSデータ（全国501店舗）によると、スーパーにおける1月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、325.4円（前年同月差22.3円高、前月差0.5円高）であった。最も高かったのは東北で、最も安かったのは関西であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表7）。

表7 グラニュー糖の地域別平均小売価格（1月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	297.5	14.0	0.4
東北	355.3	22.6	0.4
関東など	327.9	30.6	0.1
首都圏	338.1	27.2	▲1.4
中部	336.5	27.2	1.1
関西	289.4	20.8	3.2
中国・四国	345.4	15.8	▲0.2
九州・沖縄	311.0	18.3	0.9
全平均	325.4	22.3	0.5

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国501店舗〉）
 注1：価格は、消費税抜きの価格である。
 注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。
 注3：前年同月価格差および前月価格差は、KSP-POSデータ内における価格差である。

1月の三温糖小袋の平均小売価格は308.2円

KSP-POSデータ（全国501店舗）によると、スーパーにおける1月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、308.2円（前年同月差20.8円高、前月差2.3円高）であった。最も高かったのは中国・四国で、最も安かったのは関西であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表8）。

表8 三温糖の地域別平均小売価格（1月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	323.0	29.4	12.4
東北	336.8	28.5	1.7
関東など	300.7	34.8	1.5
首都圏	290.2	15.8	1.1
中部	318.8	23.3	6.8
関西	279.5	16.6	2.9
中国・四国	339.9	15.6	▲3.0
九州・沖縄	288.2	15.5	▲0.3
全平均	308.2	20.8	2.3

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国501店舗〉）
 注1：価格は、消費税抜きの価格である。
 注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。
 注3：前年同月価格差および前月価格差は、KSP-POSデータ内における価格差である。

【支出金額および購入数量】

12月の砂糖の支出金額は前年同月からかなりの程度下落

総務省「家計調査」によると、2024年12月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は43回、1世帯（二人以上）当たりの支出金額は133円（前年同月比7.6%安、前月比52.9%高）であった（図14）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、410グラム（同14.6%減、同48.6%増）であった（図15）。

図14 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移

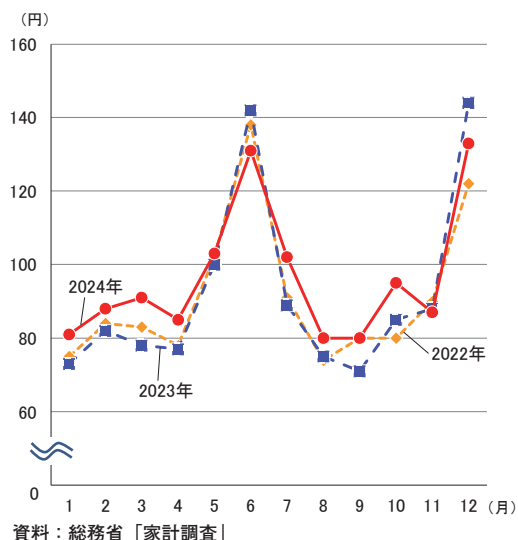


図15 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移

